

**古きを温め、新しきを創る 城の子****坂井市立平章小学校****1 取り組みの概要****(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	3回(のべ) 4日

**(2) 地域人材の活用(のべ人数)**

講師・ゲストティーチャー	85人
授業ボランティア(含:低ボラ)	256人
登下校支援ボランティア	3000人
その他( )	人

**(3) 特色ある活動**

テーマ 「心の教育の充実」

**具体的活動内容**

## ○日本最古の城「丸岡城」とともに

本校は、すぐ隣に現存する天守閣としては日本最古を誇る、重要文化財「丸岡城」を望むことができ、丸岡城のお膝元として、どの教室からもお天守を見ることができるようになっている。

本校の児童を「城の子」と呼び、この城(町)にちなんだ様々な活動を行っている。

毎年、春には桜の花が咲き誇るお城を全校児童が写生することから図工の学習が始まる。また、全国的にも有名となった「一筆啓上賞」に全校で取り組んだり、城のまちまちづくり協議会の協力を得て、丸岡城の学習に取り組んだりしている。

丸岡城の学習は、5年児童が昨年からの総合的な学習の時間に取り組み、地元の歴史家の方を講師に招き、お城の歴史から築城のいろいろな工夫・伝説など広範囲にわたってグループ調べを続け、その成果を全校集会で発表した。

さらに、今年度は「城の学習コンクール」に参加し、入賞こそ無かったものの、たくさんの成果を積み上げることができ、「城の子」として一段と成長した。

また、蓑笠庵梨一を偲び、俳句の創作にも全校で意欲的に取り組んでいる。

これらの活動は「城の子」が郷土を知り、郷土の文化に誇りをもち、生涯を通して豊かな人生を送るためにも効果的であり今後も続けていきたいと考えている。



## ○PTA・地域とともに

本校は、毎年地元の「古城祭り」に参加している。ふるさとの伝統の素晴らしさを体感し、地域の一員としての誇りと自覚を再認識することを目指して、児童・保護者・教職員が揃いの法被に鳴子を持ち、踊りに参加し祭りを盛り上げてきた。これらの活動を通して、地元の伝統を守り、ふるさとを愛する心情を育てていきたいと考えている。

**成果と課題**

地域学校協議会の方々には、普段の児童の様子を見て頂きたいとの思いから、会議を日中に行い、授業や児童の様子を参観して頂いた。いろいろな意見が出され地域の中で期待されている学校の使命を再認識できた。

地域の人材のさらなる発掘に努め、地域の人たちを通して自然や文化とのふれあい、関わり合いを重視した豊かな体験活動を工夫し、より心豊かな子どもたちを育てていきたい。

※A 4 版 1 ～ 2 枚程度で作成してください。